

第 1 回 小松島市立学校再編準備会議 会議録（要旨）

【概 要】

1. 日 時： 令和 4 年 6 月 24 日（金） 午後 7 時～午後 8 時 3 分
2. 場 所： 教育庁舎 2 階 会議室
3. 参加者： 【委員】 近藤弘幸委員、住村洋昌委員、今川泰志委員、尾田幸運委員、山住涼子委員、森田充委員、濱田哲也委員、曾我部裕司委員、藤本孝之委員、水本徳子委員、稲田米昭委員、濱田哲也委員、井内健人委員、前田洋一委員、小川宏樹委員、田口太郎委員、小林日登美委員
【傍聴者・取材記者】 各 1 名
4. 事務局： 【市教育委員会】 小野寺教育長、勢井副教育長、高瀬教育次長、椽勢学校再編推進室長、河口学校再編推進室係長、大野教育政策課長補佐、園田教育研究所員
5. 概 要： ①開会
②教育長あいさつ
③小松島市立学校再編準備会議設置について
④委嘱状交付
⑤自己紹介
⑥会長・副会長選出
⑦議事
・再編実施計画について
・準備会議、専門部会について
・今後のスケジュールについて
⑧その他
⑨閉会
6. 議事経過： 次頁以降に掲載

【議事経過】

1. 開 会

○高瀬教育次長（司会）

ただ今から「第1回小松島市立学校再編準備会議」を開会いたします。次第に沿って進めさせていただきます。

（配付資料確認）

2. 教育長あいさつ

○小野寺教育長

皆さん、こんばんは。お昼間はお仕事等でお疲れの中、第1回小松島市立学校再編準備会議の方にご出席を賜りましてまことにありがとうございます。また、お集まりの皆様方には、今回の委員を快くお引き受けいただきましたことに重ねて感謝を申し上げます。ご存じの方も多いんですけれども、小松島市の学校再編につきましては、平成18年に再編のあり方検討会がスタートいたしまして、それから10年経って、平成28年に中学校、小松島南中学校の再編が完了して新校ができた。そして、その後、小松島の小学校の方の再編計画を協議してきたというような流れでございます。その長い間に、社会状況も大きく変化しておりまして、特に予想を超える児童数の減少、それと校舎の老朽化も進んでおります。そのような状況を考えますと、現状のままでは、これからの子どもたちのよりよい環境を担保していくことがなかなか難しいのではないかとということになってまいりました。しかし、中学校の時と比べまして、小学校は地域に根ざしている部分が非常に強うございます。ですから、なかなかたいへんな部分も多うございまして、いろいろなご意見がございました。そのような中で、教育委員会といたしましては、小松島の未来の子どもたちのための教育ということを考えまして、新たな学校、新たな教育というものをつくっていくという思いを伝えてまいりました。また、市当局からの強い協力体制もございまして、今年の2月に小松島市立学校再編実施計画を成案とさせていただいたということでございます。このような背景を考えますと、やっぱり再編をしてこんな素晴らしい学校ができたと誇れるように、子どもも大人も、夢や希望が持てる、より良い教育が実現できる学校を、教育委員会はもちろん市民のみならずともにつくっていかねばならないと考えているしだいでございます。南小松島小学校の敷地に新しい学校が開校するのは、予定としては2027年、令和9年度、5年先のことでございます。時間的な猶予はあまりないのかなと。その間に、小松島の子どもたちにとって、なにが必要で、どのような教育を行って、どんな学校をつくって

いくのかということ、今日校長先生もおいでになっていますが、現場の先生や保護者の皆さんや地域の方々、ないしは有識者の方々のご意見を聞きながら、お知恵をお貸し願いながら議論を進めていきたいというふうに考えております。本日お集まりのみなさま方は、議論の総括的なお立場で、再編される学校の開校準備が円滑にかつ小松島市の将来を担う子どもたちのためによりよい教育環境が実現できますよう、お力添えをお願い申し上げて、冒頭での挨拶とさせていただきます。本日からまずは1年間、どうぞよろしく願いをいたします。

3. 小松島市立学校再編準備会議設置について

○高瀬教育次長（司会）

《資料1 「小松島市立学校再編準備会議設置要綱」に基づき説明》

- ・会議設置については、「再編される小学校の開校準備を円滑に進め、これからの学校づくりについて協議するため」。
- ・第2条「所掌事務」、第8条「専門部会」については、後ほどの議事のなかで説明。
- ・会議は、小学校に在籍する児童の保護者、教職員、地域の方、識見を有する方25名以内で構成。
- ・会議は委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

なお、本会議においては議事録を作成する都合上、会議内容の録音、記録用の写真撮影をさせていただくことをご了承くださいますようお願いいたします。また、委員の皆様のお名前を含め、議事録や資料、会議の様子などを市ホームページなどで公開し、市民の皆様に周知していきたいと考えておりますので、あわせてご了承いただきたいと思います。

4. 委嘱状交付

(略)

5. 自己紹介

○委員・職員

(略)

6. 会長・副会長選出

○高瀬教育次長（司会）

続きまして、次第の6「会長、副会長選出」です。会長、副会長の選出につきましては、委員の互選により選出することとしております。いかがいたしましょうか。

○稲田委員

事務局なにか案がありましたらお願いします。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

事務局案としまして、会長に鳴門教育大学教授 前田委員、副会長に南小松島小学校校長 森田委員を提案させていただきます。

○高瀬教育次長（司会）

事務局からは「会長には前田委員、副会長には森田委員」と提案させていただきましたが、もし、ご異議がなければ拍手にてご賛同いただければと思います。

○各委員

－ 委員一同、拍手 －

○高瀬教育次長（司会）

ありがとうございます。皆様にご賛同いただきましたので、会長を前田委員に、副会長を森田委員にお願いしたいと思います。では、お二人、前のお席にご移動ください。

それでは、会長、副会長よりごあいさつをいただきます。まず会長からよろしくお願いいたします。

○前田委員（会長）

前田でございます。先ほど皆さんに選任していただき、会長職に就かせていただくことになりました。どうぞよろしく申し上げます。小松島に関わってからけっこう経っていて、ちょうど南中学校の再編計画をしていたときからになります。今回は小学校再編ということで、微力ですががんばりたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

○森田委員（副会長）

副会長をさせていただくことになりました、南小松島小学校校長の森田でございます。私も南中学校開校の時に関わらせていただきました。今は小学校の校長をしておりますが、新しい学校が令和9年にできるということでわくわくしております。いい学校にし

たいなという思いでございます。皆さんといっしょに、会長の補佐をしながら、また学校現場の立場から意見を言わせていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○高瀬教育次長（司会）

ありがとうございました。

それでは、これからの進行につきましては、前田会長にお願いしたいと思います。

○前田委員（会長）

それでは、次第の7、議事の実施計画に移りたいと思います。「小松島市立学校再編実施計画」についての説明を、事務局お願いします。

7. 議 事

(1) 再編実施計画について

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

①再編実施計画の内容について

《「小松島市立学校再編実施計画」に基づき以下について説明》

- ・実施計画のねらい
- ・学校の組み合わせ・位置・想定スケジュール
- ・新小学校の基本計画策定と最適な事業手法の検討
- ・準備会議、専門部会の役割

②学校づくり基本コンセプトについて

《資料3 学校づくり基本コンセプトについて説明》

- ・教育委員会では、実施計画をふまえ、どんな学校をつくりたいのかを示した基本コンセプトを作成した。
- ・これからの学校は「つながり」が大事であると捉えており、これまでの学校、家庭、地域とのつながりよりも、さらに一歩踏み込んだ「つながり」を考えている。
- ・未来を生きる子どもたちに必要な力の1つである答えを創り出す力は、同学年の友達、異学年、他校の友達、地域の人々等と関わり、つながりながら、多くの様々な価値観を知ることによって身につく。
- ・核家族化、人間関係の希薄化などにより、多様な人と関わり学ぶ機会が減ってきているため、これからの学校には、多くの人とつながる仕組み、プログラムをつくり、計画的、効果的に取り入れていく必要がある。

- ・保護者の方や地域の方にもどのように子どもや学校とつながるのがよいのか、これからの学校についてともに考えてほしい。

○前田委員（会長）

ありがとうございました。今、多くのご説明をいただきましたが、準備会議と専門部会につきましては、次で詳しく協議するので、ここでは、コンセプトについてご意見やご感想があればお願いします。

今、説明を聞いただけですので、考える時間が必要だと思いますので、少し時間をおきたいと思います。

○小川委員

今回の基本コンセプトが「つながり」ということで、いろいろな立場があると思う。私は所属が徳島大学になっていますが、地元の住民で、小松島小学校のPTAの会長で、地元の公民館の役員もしています。たまたまこの間、小学校のプールの開放の話がありまして、その時に保護者が集まらなかったらプールの開放ができないのでどうしようというなかで、ちょうど公民館の役員がほぼコミュニティ・スクールの役員といっしょでして、コミュニティ・スクールと学校とがつながっていて、もし保護者の人数が足りないようだったら、コミュニティ・スクールの役員、公民館の役員で手伝うよという声をいただきました。学校だけではなくて、コミュニティ・スクールがそれぞれの学校で動いていると思うので、そういった地域の人々が関わる仕組み、そのあたりを重要視しながら、それがスムーズに新しい小学校の方にも連続していける、そういうところまで描けていると非常にいいのかなと思います。

○前田委員（会長）

ありがとうございました。他にありましたらお願いします。

○濱田委員

小松島小学校の濱田です。実は今年、本校の学校教育目標を変えました。キーワードは「つながり」です。たまたまいっしょなのですが、開かれた教育課程ということで、学校だけで完結するのではなくて、保護者をはじめ地域の方、様々な方とつながって、地域ぐるみで子どもを育てていこうというコンセプトになっています。実際活動しても、様々な方との協力というのが子どもたちを育てるうえで必要になってきますので、新しい小松島の学校づくりでも「つながり」というコンセプトは大事になってくるし、実際必要な部分であると考えていますので、こういった部分を中心に進めていったらいいと

感じています。

○前田委員（会長）

ありがとうございました。他にご意見ありましたらお願いします。

○稲田委員

「つながり」により子どもたちが育つ学校についてはいいのですが、内容を見たときに、「思考」のところで「新しい教育を展開する学校」、「自然」のところでは「自然を感じられる学校」という文言がありますが、どのようなかたちでこのような文言になったのか、「新しい教育を展開する学校」とはどういうものなのか、どのようなかたちを考えているのか、教えていただきたいと思います。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

「新しい教育を展開する学校」というのは、例えば、GIGAスクール構想で一人一台タブレットでの学習、また文部科学省が出している令和の日本型学校教育の中の個別最適化学習、自分で自分の学びたいことを進めていくものと協働的な学習、グループで答えを見つけていく探究的な学習といったものが入ってきています。また、グローバル社会に向けて、外国語の学習も行われています。そういった学習が展開できる学校を考えています。「自然を感じられる学校」というのは、ビオトープで池をつくるとか、先行例ですが、屋上庭園ですとか、そういったものをまたみなさんと考えていきたいと思っています。

○前田委員（会長）

他にないでしょうか。

それでは、次にうつりたいと思います。議事の2つめ、準備委員会、専門部会につきまして、事務局より説明をお願いします。

（2）準備会議、専門部会について

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

実施計画の16ページの学校再編準備委員会の設置（案）を図に示したものが、資料4「小松島市立学校再編準備会議組織図（案）」になります。資料4をご覧ください。部会名や検討内容について示していますが、「つながり」のコンセプトを実現するために、これをもっと良いものにしたいと考えております。準備会議と専門部会の有効的な進め方についてご意見をいただきたいと思います。

○前田委員（会長）

事務局より説明がありました。コンセプト実現をふまえた準備会議と専門部会の進め方について、ご意見ありましたらお願いします。

これは、少し時間をおきます。今聞いた話なので。それぞれ委員の皆さん、お考えのうえ、ご意見ありましたらお願いします。

○今川委員

以前、総務部会と通学部会を小学校から1名出してほしいということで説明に来られて、出させていただいた。PTAは1年ごとに役員が代わっていくが、これを3年、4年ばかりでやっていくとなると、人が代わっていく感じになるので、引き継ぎはどのようにしたらよいのでしょうか。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

学校の方で、交通安全の部会やPTAの役員会があると思いますので、そちらで引き継ぎをしていただけたらと思っています。また、この会の様子や決まったことについては、随時ホームページで公表しますし、学校や就学前施設の方にも準備会議だよりのようなものを出していこうと考えています。もし、学校の方で準備会議の内容について説明してほしいというような要望がありましたら、説明にまいりたいと思っております。

○今川委員

1度持ち帰って、総務部会だったらPTAの本部役員さんになると思うのですが、みんなに説明して引き継ぎをしていったほうがいいということですか。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

はい。

○今川委員

こういうことって個人的な意見が入ってくると思うんですが、次の新しい人にその個人的な意見が同意見になるのか難しいところで、そういうところはどうか考えたらいいのかなと思うのですが。

○前田委員（会長）

これはPTAで合意していただいて。個人的な意見ではなかなか難しいところがありま

すので。

○今川委員

そうなってくると、会議があるときに事前にこういう内容でやりますよと本部役員会で打ち合わせをして持ってくるというのが理想的なかたちになるんですか。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

そうですね。PTAとしての考えをまとめて持ってきて会で言うてくださるのが、いちばん私どもとしてもありがたい。この会は長く続きますので、年度初めには昨年こんなことが話し合われましたというような経緯を説明しますので、会の中でも引き継ぎが行われるようにしていきたいと考えています。

○今川委員

分かりました。ありがとうございました。

○前田委員（会長）

委員の継続性につきましては、5年後の話ですので、開校が。それまでに多分メンバーも代わるだろうと思うのですが、やはり継続できるようにご担当の方で審議していただいて、継続性に重点を置いてやっていただけたらと思いますので、よろしく願います。

他、なにかありますでしょうか。

○田口委員

事務事項ごとに部会を分けていますが、部会間の調整機能というのはどこが担うのでしょうか。あるいはここで、トップダウンで決めてしまうと部会の尊厳を無視してしまうことになるので、調整をどのようにされるのか教えていただきたいと思います。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

部会で決定したことは、一旦準備会議の方に報告するのですが、そこで練ったものをもう1回部会に戻す、フィードバックするようなかたちも考えています。

○田口委員

最終意思決定は準備会議がもつということですか。

例えば、こういう教育がやりたい、こういう体制をつくりたいというとき、当然予算

の問題や周辺協力者が出てくる。そのときに部会の皆さんが積極的に意見を出されて、盛りだくさんなものになった結果、予算を理由に全部切られかねないということになったときに、それを部会に返されても部会としてははね返す方法はなくなってくる。なので、どこかしらで調整が必要になってきて、そこをどうされるのかなど。あらかじめ合意形成しておかないと、後でもめますので、決めておいた方がいいと思います。

○前田委員（会長）

これ、即答できますか。

会議全体の意思決定の手続きに関わる項目ですので、今即答はできないと思います。少しお時間をいただいてご回答させていただくというかたちでもよろしいですか。

○田口委員

はい、いいと思います。きちんとそれを各部会で納得できる仕組みをつくっておいた方が。ぜひお願いします。

○前田委員（会長）

これで事務局よろしいですか。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

はい。また検討しまして、回答したいと思います。

○前田委員（会長）

大変大切なご意見ですので、それをふまえて考えていただけたらと思います。

他に何かありますでしょうか。

○小川委員

再編実施計画の16ページのところに、案ですが、各部会の構成メンバーが書かれています。私はPTAの立場でこの部会に入ってくださいだとか、公民館の役員の立場で地域関係者としてこの部会に行ってくれとなっていて、本来良くないんでしょうが、小さな町なので動ける人間に限られている状況からすると仕方ないのかなと思って、私が行けるところは行きますと引き受けている部分はあります。そういう状況なので、例えばPTA関係者ということで入っていただいて卒業して抜けたけれど、その後コミュニティ・スクールに入ってPTA関係者として継続して来てもいいという方がいれば、引き続き充て職的にという部分があってもいいというように柔軟に対応していただくと、引

き継ぎや年度がわりの会がスムーズにいくのではないかと思いますので、検討していただけたらと思います。

○前田委員（会長）

実際、構成メンバーは継続性がありますし、またがっている場合もありますので、その点も小川委員のご指摘を踏まえた上で、事務局の方でお考えいただければと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

他にありますでしょうか。

それでは、各部会の説明を事務局から願ひします。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

案では5つ部会を示しておりますが、今年度取り組むたい部会としましては、総務部会、教育課程等部会、通学部会です。

まず、総務部会では、①学校施設、設備について検討を行います。学校施設整備に係る基本計画を作成するにあたり、「学校づくり基本コンセプト」にある『『つながり』により子どもたちが育つ学校』をもとに、子どもたちが通いたいと思う学校、防災施設や地域交流の場を備えた学校はどういったものかなどについて検討を行い、結果を準備会議に報告してもらいます。準備会議はその意見をうけて協議を行い、基本計画に反映していきます。部会のメンバーについては、各小学校の保護者、教職員、地域の方、それぞれ1名ずつ、全部で33名となります。

次に、教育課程等部会では、①めざす教育、学校像について検討を行います。子どもたちに「生きる力」を培うために、どんな教育をするのか、どんな学校をつくるのかなどについて、考えていきます。これについても、基本計画に反映していきます。部会のメンバーは、各小学校の教職員1名ずつと準備会議の委員である小学校長3名の14名となります。

最後に、通学部会については、令和9年に開校する新小松島小学校の通学路について検討を行います。再編する4校（小松島小、南小松島小、千代小、芝田小）の児童の居住地から多くの児童が通ることとなる主要な通学路を想定し、道路状況や危険箇所などを調査し、検討します。部会のメンバーは、再編する4校の保護者、教職員、地域の方、それぞれ1名ずつ、全部で12名となります。

○前田委員（会長）

事務局からご提案がありましたが、今年度3つの専門部会において、総務部会では学校施設設備の検討、教育課程等部会ではめざす教育の検討、通学部会では新小松島小学

校の通学路について検討するというので、みなさんよろしいでしょうか。

私から質問してもよろしいでしょうか。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

はい。

○前田委員（会長）

今年度の中に、ここに書いてある3つのことについてすべて結論を出すという考えなのか、継続審議もありなのか、それについてはどうでしょうか。

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

実施計画の説明の際に、今年度基本計画を策定すると説明させていただきました。こんな学校にしたいという意見を基本計画に反映して、それを基本設計につなげていくことになりますので、こんな学校をつくりたいという、建物の方の考えは今年度中にかためていきたいと考えています。めざす教育については、ずっと考えていかなければならないことですので継続審議もあります。通学路につきましても、まだ開校までに時間がありますので、決定したことはもう変更しないということではなくて、随時見直していくことになると思います。

○前田委員（会長）

今のご説明では、総務部会につきましては学校施設整備について今年度中になにかプランが出ればということで、教育課程等部会については継続して検討していきたい、それから、通学部会については、これも継続審議でいきたいというご説明がありました。

その他についてご質問があればお願いします。

それでは、ご質問がなければ、今の事務局案のとおり、各部会で審議を進めるということでご了解いただけますか。

○委員了承

○前田委員（会長）

それでは、皆様のご了解がいただけましたので、説明があったように、専門部会を設置して、開校に向けた検討、協議を行って、検討結果を報告できるように進めていってください。

それでは、議事の3番目、今後のスケジュールにつきまして、事務局から説明をお願い

いします。

(3) 今後のスケジュールについて

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

資料5「全体スケジュール（新小松島小学校開校まで）」をご覧ください。このスケジュールは、新小松島小学校開校までのおよその目安であり、準備会議の協議の中でさらに検討が必要な内容が出てくれば検討事項を追加することもありますし、新たに専門部会を設置することもあります。また、検討時期や期間が変更されることもありますので、その都度、対応していきたいと考えています。

次に、資料6「令和4年度スケジュール」をご覧ください。第2回の準備会議は、各部会から進捗状況や調査・検討内容の中間報告をうけて協議をし、検討事項やスケジュールについて見直しを行います。開催は10月を予定しています。第3回の準備会議は、各部会からの今年度のまとめの報告をしてもらうとともに、来年度の部会の検討事項について協議を行います。また、学校施設建設のための基本計画についても準備会議としての意見をまとめることとなります。開催は1月を予定しています。部会についてもこのスケジュールに従って実施したいと考えています。

○前田委員（会長）

ありがとうございました。ただ今のご説明に関して、ご質問、ご意見ありましたらお願いします。

なかなかよく分からないというのが本当のところだと思いますが、5年間という期間を有効に使って考えていければと思っています。先ほどの優先順位とか、審議内容とか、進捗状況とか、スケジュールを見ていただいて各部会の方、取り組んでいただけたらと思います。

それでは、令和4年度の全体スケジュールにつきまして、提案がありましたように進めてもよろしいでしょうか。

○委員了承

○前田委員（会長）

それでは皆さんから承認いただきましたので、スケジュールに従って進めていただければと思います。

それでは、次第の8「その他」につきまして、事務局お願いします。

8. その他

○稼勢学校再編推進室長（事務局）

先ほどのスケジュールの説明でも申しましたが、次回第2回準備会議を10月に開催する予定です。決定いたしましたら、またご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。

次に、報酬についてですが、申請していただいた口座に7月末に振り込ませていただきますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

○前田委員（会長）

ありがとうございました。少しだけ、お話しさせていただいてもよろしいでしょうか。

先ほど、事務局の方から学校づくり基本コンセプトを掲げて、濱田校長先生からは実は同じ学校教育目標でやっているとお話いただいたんですけど、この会議や部会で議論することは5年後にやればいいことではなくて、実はもうスタートを切らなきゃいけないものがたくさんあります。今の1年生が6年生になったときに新しい学校に入学してくる子どもたちになるわけですが、その前に実際子どもたちは成長していくので、コンセプトにしたがった教育課程について学校現場でも考えていただきたいし、それに関わるPTA活動につきましてもやはり考えていただきたいなと思います。子どもたちはずっと成長していく過程ですので、それを5年後というかたちではなくて、今回コンセプトを出されて、今後おそらく小松島市の教育全体が「つながり」をキーワードに進められていくんだろうなと理解しておりますので、学校やPTAや地区の方々に子どもたちに関われるところでは、今日できることは今日のうちにやっていただくというような考え方で取り組んでいただければ。5年後だからというのではなくて、明日からでもできることは取り組んでいけるように議論をしていくようにしていただければと思います。今、私が話しましたが、もしもこういう方法があるといいよねということがありましたら、皆さんのご意見をうかがいたいと思いますが、なにかありませんでしょうか。

よろしいでしょうか。1回目ということですので、緊張の中で会を進めたのですが、ご意見がありましたら直接事務局の方にご連絡いただいて、これどうなってるのということがありましたら、また会議にかけるなり、審議するなり、いろんな手続きをとらないと、予想外のことが出てきたりしますので、事務局の方に連絡していただけたらと思います。

それでは、本日の会議を終了したいと思います。ご協力どうもありがとうございました。

9. 閉会

○高瀬教育次長（司会）

会長、ありがとうございました。今日、田口委員から宿題としていただいたものにつきましては、次回までに事務局で回答できるようにしておきたいと思います。委員の皆さま、本日はお忙しい中、長時間にわたりありがとうございました。すっかり暗くなっておりますので、お足元にお気を付けてお帰りください。本日はありがとうございました。